

平成30年度 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議外部委員発言要旨

日時：平成30年7月26日（木）午前10時30分～

場所：市役所防災庁舎5階 災害対策本部室

基本目標 1	
施策「地場産品の販路開拓・拡大」	<ul style="list-style-type: none"> ・くしろ応援ファンドや楽天との連携事業については、成功事例をもっとPRしてもいいと思う。 応援ファンドや楽天に出店することでこれだけ効果が出ている店があるという先進事例が発信できれば、後に続く人ががんばれるのでそういう発信の仕方もいいと思う。
施策「釧路が誇る地域資源を生かした滞在型観光地域づくり」	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業がスピード感を持った形でタイムリーに進めていかなければならない中で、最近頻繁に報道で出されているのが「命が危険になるほどの暑さ」という言葉で、釧路がこれだけ涼しいのであれば、今こそ声をあげて涼しさをPRすべきではないかと思う。 食やアクティビティなど様々な観光素材もあるが、涼しさもそれに匹敵する同等の価値があるのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日のニュースで釧路が一番涼しい場所として取り上げられていた。実家の京都に住んでいる母からもニュースを見て「日本で1番涼しいこと、長期滞在が多いことを初めて知った」と言っており、改めて釧路がまだまだ知られていないことを知った。 また、関東や関西など今年は暑すぎて子供たちを外で遊ばせてあげられないとも聞いたこともあり、涼しさは強力な武器になると感じている。 釧路市が観光に力を入れて様々な取組みをされていても、知らなければ意味がないので、自分自身もどのように伝えていけばいいのかと考えていかなければならないと思った。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の仕方も一つあるが、多くの人を巻き込んで進めていくシステムが必要だと思う。 特に観光や交流という面では、一般市民が「こういった観光をしたら楽しい」など説明や「釧路にいたらこんなことができる」というモデル的な観光を発信できるなど、行政機関だけではなく市民も一体となって取り組んでいくことが正しい姿なのではないかと思う。
施策「物流機能、ものづくり技術などを生かした企業誘致」	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートオフィスという夏の暑い間に在宅勤務とリモートオフィスとかの考えで首都圏の方が夏に外に行って、そこからリモートで仕事する流れが今後加速すると思う。 リモートオフィスができる場所をたくさん提供できるというのを企業にアピールして、夏の涼しい釧路で仕事をするような提案ができればと思う。

<p>施策「女性の活躍促進」</p>	<p>・女性の就労に関する事業を市の事業としてやらせていただき感じたこととして、女性は就職するタイミングのサポートだけではなく、育児や介護といった家庭環境が変わることが多々あり、そのフォローができるように長期的な支援体制が必要だと感じているため、単年度だけでものを見ずに長期的に考えて事業を進めていければと考えている。</p>
<p>基本目標 2</p>	
<p>施策「釧路滞在誘致活動の推進」</p>	<p>・観光が頻繁に取り上げられるようになって先進的に進んでいるが、滞在日数が少ないと聞き、観光はまだまだ短いと感じた。</p> <p>一方で長期滞在がクローズアップされていて、高齢者の方が多くいらっしゃるというのを聞いていて、若い方の長期滞在はどうするのが課題になっているのではないかなと思う。</p> <p>自分の兄弟も夏休み時期になったら、奈良から逃げてくるように遊びに来て過ごしている。</p> <p>子供たちの夏休みに合わせて親同伴で長期滞在をプロモーションすることも一つではないかなと思う。</p> <p>湿原や阿寒湖など、子供が遊べる大自然がたくさんあり、暑さも心配する必要もない。</p> <p>また、長期滞在の方は独自のネットワークを持っており、毎年会うのを楽しみにしているそうなので、そういったネットワークを活用し、外に発信してもらう仕組みと一緒に作るのも一つではないかなと思う。</p> <p>・首都圏の方たちは40日もある夏休みの中で子供を外にも出せないということで結局テレビ、インターネットづけになっていることに危惧を感じている方も多いと思います。</p> <p>その中で阿寒に滞在して親子でカヌーや、山登り、キャンプ、酪農、農業がいっぺんに体験できるパッケージを提案し、暑い首都圏で暮らしている子供や親の方に来てもらうような仕掛けを考えていただきたい。</p>
<p>全体</p>	
	<p>・人口が減少していく中でどうやって活力を維持していくかが大きな目的としてあると感じており、少しでも政策の力になれるならと思っている。</p> <p>KPIの達成状況も単純に数字上達成をした、しないだけではなく、指標があって1つ1つの事業がKPIを達成して釧路を良くしていく方向に作用していくことが大事だと思う。</p> <p>そういった事業が今後も継続されていけばと思った。</p>
	<p>・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、地方創生のためにこのような事業を行い、このようなKPIを設定し、今後どのように取組んでいくのかを、推進会議のメンバーは出席したことで理解はできるが、実際に聞いていない人や一般市民に対して、情報発信をわかりやすく発信していくことが大事だと思う。</p>